Ⅸ　調査票

〔単純集計結果〕

**平成29年度 高知県　県民世論調査　調査票**

**１．県の基本政策について**

高知県では、現在、県勢の浮揚を図り、将来に希望の持てる県づくりに向けて、５つの基本政策に基づいた取り組みを進めるとともに、それらの政策に横断的にかかわる３つの政策に取り組んでいます。

【５つの基本政策】

①経済の活性化

（産業振興計画による地産外商の強化、担い手の育成・確保や地域産業クラスターの形成等の拡大再生産策の強化など）

②日本一の健康長寿県づくり

（壮年期の死亡率の改善、地域地域で安心して住み続けられる県づくり、厳しい環境にある子どもたちへの支援など）

③教育の充実と子育て支援

（「チーム学校」の構築による知・徳・体のさらなる向上、地域との連携・協働など）

④南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化

（地震発生直後の命を守る対策をはじめ、助かった命をつなぐための応急期の対策など）

⑤インフラの充実と有効活用

（県民の安全・安心につながる道路、河川、港湾などの整備、公共交通機関の維持確保など）

【５つの基本政策に横断的にかかわる３つの政策】

⑥中山間対策の充実・強化

（集落活動センターの普及・拡大、生活用品・移動手段の確保、鳥獣被害対策など）

⑦少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大

（結婚、妊娠・出産、子育てなどのライフステージの各段階に応じた切れ目のない対策、就職や起業に向けた支援など）

⑧文化芸術とスポーツの振興

（文化芸術の振興、競技力の向上、生涯スポーツの推進、スポーツツーリズムの振興など）

＊詳しくは同封のパンフレット「平成29年度高知県の財政」Ｐ.３～６をご覧ください。

。

県の進めている８つの基本的な政策について、以下それぞれお伺いします。

問１ 「経済の活性化」について、第３期高知県産業振興計画に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（３つまで○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 農林漁業の生産地の強化 | 619 | 38.5％ |
| ２ | 加工食品や機械などのものづくり産業の振興 | 267 | 16.6％ |
| ３ | 防災関連産業、コンテンツ関連産業、IoT関連産業などの新たな産業の創出 | 247 | 15.4％ |
| ４ | 観光の振興 | 561 | 34.9％ |
| ５ | 県産品等の県外・海外での販売促進支援 | 297 | 18.5％ |
| ６ | 産業の担い手の育成・確保 | 695 | 43.2％ |
| ７ | 県外からの移住の促進 | 267 | 16.6％ |
| ８ | 第一次産業などを核とした産業集積（地域産業クラスター※） | 418 | 26.0％ |
| ９ | 起業や新たな事業展開を志す方への支援 | 237 | 14.7％ |
| 10 | 企業の誘致 | 408 | 25.4％ |
| 11 | 地域の商店街等の活性化 | 498 | 31.0％ |
| 12 | その他 | 21 | 1.3％ |
|  | 無回答 | 7 | 0.4％ |

※　地域産業クラスター：地域に根差した第一次産業などを核として、その周りに、例えば、加工場や、直販所、レストランなどの関連施設を集積させることにより、第一次産業から第三次産業までの多様な仕事を地域地域に数多く生み出す取り組み。

問２ 「日本一の健康長寿県づくり」について、第３期日本一の健康長寿県構想に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（３つまで○印）

（回答者数 1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | がん対策や脳血管疾患・心臓病・糖尿病などの血管病対策 | 493 | 30.7％ |
| ２ | 生涯にわたる健康的な生活習慣の定着 | 549 | 34.1％ |
| ３ | 医師等の地域偏在の是正 | 436 | 27.1％ |
| ４ | 在宅医療・介護の推進 | 423 | 26.3％ |
| ５ | 救急医療体制の強化 | 285 | 17.7％ |
| ６ | 高齢者がいつまでも元気に暮らせる地域づくり※ | 581 | 36.1％ |
| ７ | 障害のある方の自立を促し、安心して生活のできる地域づくり | 204 | 12.7％ |
| ８ | 厳しい環境にある子どもたちへの支援 | 406 | 25.2％ |
| ９ | 少子化対策の推進 | 610 | 37.9％ |
| 10 | 介護などのサービス提供を担う人材の安定確保 | 526 | 32.7％ |
| 11 | その他 | 24 | 1.5％ |
|  | 無回答 | 4 | 0.2％ |

※　介護予防や生活支援サービスの充実・強化など、高齢者がいつまでも元気に安心して日々を暮らせる対策。

問３　「教育の充実と子育て支援」について、教育等の振興に関する施策の大綱に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。

（３つまで○印）

（回答者数 1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 学力向上に向けた学校の組織力の強化※1 | 701 | 43.6％ |
| ２ | 道徳教育の推進 | 436 | 27.1％ |
| ３ | 運動能力の向上、運動習慣の確立 | 320 | 19.9％ |
| ４ | 社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の推進 | 458 | 28.5％ |
| ５ | 発達障害など特別な支援を必要とする子どもへの指導・支援の充実 | 308 | 19.2％ |
| ６ | 貧困の世代間連鎖を教育によって断ち切るための支援の充実※２ | 517 | 32.2％ |
| ７ | いじめや暴力行為、不登校などへの対策の充実 | 668 | 41.5％ |
| ８ | 地域の方々との連携・協働による学習やスポーツ活動などの推進 | 373 | 23.2％ |
| ９ | 就学前の教育・保育の充実 | 333 | 20.7％ |
| 10 | 生涯にわたって学び続けられる環境づくりの推進 | 323 | 20.1％ |
| 11 | その他 | 19 | 1.2％ |
|  | 無回答 | 7 | 0.4％ |

※1　教員同士がチームを組んで主体的に学び合うことにより組織的に授業力の向上などを図る。

※2　家庭の経済状況と子どもの学力には相関関係があり、貧困の世代間連鎖が危惧される状況であることから、保護者の子育て力の向上や放課後等における学習の場の充実などを図る。

問４ 「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」について、第３期南海トラフ地震対策行動計画に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。　　　　　　　　　　　　　　　　（３つまで○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 住宅の耐震化の強化 | 487 | 30.3％ |
| ２ | 津波からの避難場所や避難路の整備 | 633 | 39.4％ |
| ３ | 体育館などの避難所の確保や運営体制の充実 | 333 | 20.7％ |
| ４ | 支援物資が避難所に確実に届く体制づくり | 780 | 48.5％ |
| ５ | 前方展開型による医療救護体制の推進※ | 288 | 17.9％ |
| ６ | 防災教育の強化 | 270 | 16.8％ |
| ７ | 高齢者や障害者などの要配慮者の方々を地域で支え合う仕組みづくり | 335 | 20.8％ |
| ８ | 地震火災・津波火災対策の推進 | 153 | 9.5％ |
| ９ | 津波や浸水による被害を防ぐ防潮堤などのハード整備 | 286 | 17.8％ |
| 10 | 地震を予知・観測・伝達する体制の強化 | 357 | 22.2％ |
| 11 | 自主防災組織など人のつながりの強化 | 330 | 20.5％ |
| 12 | 発災後の応急対策活動や住民生活に必要となる燃料の確保対策 | 285 | 17.7％ |
| 13 | その他 | 23 | 1.4％ |
|  | 無回答 | 7 | 0.4％ |

※　負傷者を病院に搬送できないことが想定されるため、より負傷者に近い場所で医療救護活動が行える体制づくりを強化していくこと。

問５ 「インフラの充実と有効活用」について、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。　　　　　　　　　（２つまで○印）

（回答者数 1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 他の地域とのつながりを強化する高速道路等の整備 | 525 | 32.6％ |
| ２ | 日常生活を支える国道や県道等の整備 | 713 | 44.3％ |
| ３ | 風水害に対する河川や海岸等の整備 | 328 | 20.4％ |
| ４ | 南海トラフ地震を見据えた大規模防波堤等の整備 | 369 | 22.9％ |
| ５ | 既存インフラの維持管理や老朽化対策 | 463 | 28.8％ |
| ６ | 公共交通機関の維持確保 | 444 | 27.6％ |
| ７ | 高速道路や空港、港湾等を活用した物流対策 | 207 | 12.9％ |
| ８ | その他 | 9 | 0.6％ |
|  | 無回答 | 8 | 0.5％ |

問６ 「中山間対策の充実・強化」について、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。　　　　　　　　　　　（２つまで○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 食料品や日用品などの確保 | 350 | 21.8％ |
| ２ | 地域での医療・介護の確保 | 725 | 45.1％ |
| ３ | 買い物や通院のための移動手段の確保 | 729 | 45.3％ |
| ４ | 地域で収入を得ることができる産業づくり | 601 | 37.4％ |
| ５ | 集落の維持・再生に向けた地域の支え合いの仕組みづくり | 294 | 18.3％ |
| ６ | 移住促進等による地域活動などの担い手の確保 | 232 | 14.4％ |
| ７ | 鳥獣被害への対策 | 137 | 8.5％ |
| ８ | その他 | 11 | 0.7％ |
|  | 無回答 | 3 | 0.2％ |

問７　「少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大」について、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。　（２つまで○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 地域や職場など社会全体で結婚や子育てを応援する機運の醸成 | 375 | 23.3％ |
| ２ | 結婚を希望する独身者への出会い・結婚支援策の充実 | 273 | 17.0％ |
| ３ | 安心して妊娠・出産できる環境の整備 | 477 | 29.7％ |
| ４ | 子育てや教育にかかる経済的な負担の軽減 | 734 | 45.6％ |
| ５ | 子どもの預け先の確保など子育て支援サービスの充実 | 359 | 22.3％ |
| ６ | 男性の家事・育児の分担など家庭における男女共同参画の推進 | 102 | 6.3％ |
| ７ | いったん子育て等に専念しても、希望すれば再就職できるための支援 | 317 | 19.7％ |
| ８ | 仕事と育児・介護などの家庭生活の両立に理解がある職場づくり | 470 | 29.2％ |
| ９ | その他 | 13 | 0.8％ |
|  | 無回答 | 7 | 0.4％ |

「文化芸術とスポーツの振興」について、県が行っている施策のうち特に力を

入れるべきものは何ですか。

問８　文化芸術の振興について、特に力を入れるべきものは何ですか。

（２つまで○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | ホール・劇場、美術館、博物館等の文化施設の充実 | 591 | 36.8％ |
| ２ | 文化芸術を鑑賞・体験できる機会の充実 | 753 | 46.8％ |
| ３ | 文化芸術活動を発表する機会の拡充 | 147 | 9.1％ |
| ４ | 高知固有の文化の継承や活用 | 590 | 36.7％ |
| ５ | 文化芸術活動を支える人材の育成 | 427 | 26.6％ |
| ６ | 文化芸術に関するイベント等の情報発信 | 352 | 21.9％ |
| ７ | その他 | 21 | 1.3％ |
|  | 無回答 | 22 | 1.4％ |

問９　スポーツの振興について、特に力を入れるべきものは何ですか。

（２つまで○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 選手や指導者の育成による競技力の向上 | 825 | 51.3％ |
| ２ | 誰もが地域でスポーツに参加できるための環境づくり | 833 | 51.8％ |
| ３ | スポーツを通じた交流人口の拡大 | 401 | 24.9％ |
| ４ | スポーツ施設などの充実 | 742 | 46.1％ |
| ５ | その他 | 26 | 1.6％ |
|  | 無回答 | 15 | 0.9％ |



高知県イメージキャラクター

「くろしおくん」

改めて、５つの基本政策と３つの横断的にかかわる政策についてお聞きします。

問10　県が行っている８つの政策のうち、より一層力を入れて取り組むべきだと考えるものは何ですか。　　　　　　　　　　　　　（２つまで○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 経済の活性化 | 905 | 56.3％ |
| ２ | 日本一の健康長寿県づくり | 97 | 6.0％ |
| ３ | 教育の充実と子育て支援 | 537 | 33.4％ |
| ４ | 南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化 | 546 | 34.0％ |
| ５ | インフラの充実と有効活用 | 200 | 12.4％ |
| ６ | 中山間対策の充実・強化 | 292 | 18.2％ |
| ７ | 少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大 | 418 | 26.0％ |
| ８ | 文化芸術とスポーツの振興 | 47 | 2.9％ |
|  | 無回答 | 9 | 0.6％ |

問11　８つの政策以外に力を入れて取り組むべきだと考えられるものがあれば、ご自由にお書きください。　　　　　　　　　　　　　　　（自由記入）

　　　　Ⅶ　自由回答〔問11〕（244ページ）に記載しています。



いただいたお答えは、県の政策を進めるうえでの大事な基礎資料となっています。



つなみまん

じしんまん

**2．南海トラフ地震対策について**

|  |
| --- |
| 南海トラフ地震は、発生の度に高知県に大きな被害をもたらしてきました。今後30年以内に発生する確率は70パーセント程度と言われ、その切迫度は刻々と増しています。  県では、「南海トラフ地震対策行動計画」を策定し、ハード・ソフトの両面から様々な対策を進めてきたところです。  平成25年度に策定した第２期行動計画（計画期間：平成25年度～平成27年度）では、東日本大震災を踏まえ、津波対策を抜本的に強化しました。この計画に基づき、命を守る対策に最優先に取り組んだ結果、避難路や避難場所、津波避難タワーなど、津波避難空間の整備が概ね完成しました。さらに、県内８箇所の総合防災拠点の整備や道路の啓開計画の策定、集落の孤立対策、医療救護対策など、助かった命をつなぐ対策も本格化させました。  昨年４月にスタートした第３期行動計画※（平成28年度～平成30年度）では、第２期行動計画の成果や課題を踏まえ、発災直後の命を守る対策の徹底を図るとともに、助かった命をつなぐ応急期の対策について、さらに掘り下げ具体化させているところです。  こうした中、昨年４月に発生した熊本地震の教訓を踏まえ、特に「繰り返す揺れへの対応」や「避難所の運営体制の充実」、「支援物資等の円滑な配送」の３点については、対策を重点的に点検し、行動計画のさらなるバージョンアップを図り、本年３月に第３期行動計画を改訂しました。  今後、南海トラフ地震による被害を軽減させるためには、県民の皆さま一人ひとりの備えとしての「自助」の取り組みや地域で支え合う「共助」の取り組みが何よりも重要となります。  そのため、県としての「公助」の取り組みを進めることはもちろんのこと、「自助」、「共助」、「公助」が一体となった取り組みをしっかりと進めてまいります。  ※　第３期行動計画：被害の軽減や地震発生後の応急・復興のための事前の準備など、  県として実施すべき取り組みをまとめたもの。（平成28年３月策定） |

Ⓒやなせたかし

問12　あなたのお宅は津波で浸水が予測される地域ですか。

（１つだけ〇印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 津波で浸水が予測される地域である | 622 | 38.7％ |
| ２ | 津波で浸水が予測される地域ではない | 793 | 49.3％ |
| ３ | わからない | 132 | 8.2％ |
|  | 無回答 | 61 | 3.8％ |

問13　あなたが津波の浸水が予測される地域にいるときに、今まで経験

したことがないような大きな揺れに襲われ、その揺れが１分以上続いたとします。あなたはいつ避難しますか。　　（１つだけ○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 揺れがおさまった後、すぐに | 1,153 | 71.7％ |
| ２ | 津波警報が出たら | 218 | 13.6％ |
| ３ | 市町村から避難の呼びかけがあったら | 140 | 8.7％ |
| ４ | 周りの人が避難したら | 45 | 2.8％ |
| ５ | 避難しない | 35 | 2.2％ |
|  | 無回答 | 17 | 1.1％ |

問14　強い揺れにより、家具（タンス、本棚、食器棚、戸棚）や家電（冷

蔵庫、電子レンジ、テレビ）などが倒れたり、飛んでくることがあります。耐震金具などにより家具や家電を固定することや、配置の見直しをするなど室内の安全対策が大変重要となります。

　　　あなたのお宅では、家具や家電などの固定をしていますか。

（１つだけ○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 固定している | 236 | 14.7％ |
| ２ | 寝室（子供部屋を含む）だけは固定している | 137 | 8.5％ |
| ３ | 固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない | 1,072 | 66.7％ |
| ４ | 固定が必要な家具や家電などを居室内に置いていない | 155 | 9.6％ |
|  | 無回答 | 8 | 0.5％ |



Ⓒやなせたかし

たいさくくん

問15　強い揺れにより、ご自宅に大きな被害が出た場合、避難所で避難

生活を送ることになります。発災直後においては、行政が避難所の運

営を行うことが困難であるため、避難所の開設や運営について、住

民の皆さま自らが行っていただく必要があります。

あなたは、食事の提供や物資の受入・配布、高齢者の生活支援

など、避難所の開設や運営に関わろうと思いますか。

（１つだけ○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 関わりたい | 515 | 32.0％ |
| ２ | 関わりたいが、やり方がわからない | 609 | 37.9％ |
| ３ | できれば関わりたくない | 188 | 11.7％ |
| ４ | 関わりたくない | 45 | 2.8％ |
| ５ | わからない | 240 | 14.9％ |
|  | 無回答 | 11 | 0.7％ |

問16　あなたのお宅では南海トラフ地震に備え、食料を備蓄していますか。（備蓄には、日常に使用できる食品を少し多く買い置きすることも含みます。）　　　　　　　　　　　　　　　　　（１つだけ〇印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | １日～２日分を備蓄している | 652 | 40.5％ |
| ２ | ３日～６日分を備蓄している | 312 | 19.4％ |
| ３ | ７日分以上を備蓄している | 57 | 3.5％ |
| ４ | 備蓄していない | 579 | 36.0％ |
|  | 無回答 | 8 | 0.5％ |

問17　あなたのお宅では南海トラフ地震に備え、飲料水を備蓄していますか。（備蓄には、日常に使用できる飲料水を少し多く買い置きすることも含みます。）　　　　　　　　　　　　　　　（１つだけ〇印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | １日～２日分を備蓄している | 626 | 38.9％ |
| ２ | ３日～６日分を備蓄している | 266 | 16.5％ |
| ３ | ７日分以上を備蓄している | 73 | 4.5％ |
| ４ | 備蓄していない | 634 | 39.4％ |
|  | 無回答 | 9 | 0.6％ |

※　1人1日３リットルの水が飲料用に必要であると言われています。

問18　過去１年間に地域や職場の地震に関する防災訓練に参加したこと

がありますか。　　　　　　　　　　　　　　　　（１つだけ○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 参加した | 678 | 42.2％ |
| ２ | 都合が合わず参加できなかった | 338 | 21.0％ |
| ３ | 訓練がなかった、またはあったかわからない | 445 | 27.7％ |
| ４ | 参加しようと思わなかった | 140 | 8.7％ |
|  | 無回答 | 7 | 0.4％ |

問19　地域や職場の地震に関する防災訓練に、どうすれば参加する人が増えると思いますか。　　　　　　　　　　　　　　　（２つまで○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 近所同士で声を掛け合って一緒に参加する | 582 | 36.2％ |
| ２ | 訓練の回数を増やす、参加しやすい日に開催する | 473 | 29.4％ |
| ３ | パンフレットやチラシ、テレビＣＭなどで訓練の広報を行う | 262 | 16.3％ |
| ４ | 他のイベントと一緒に行う | 535 | 33.3％ |
| ５ | 参加賞（非常食など）を出す | 385 | 23.9％ |
| ６ | 参加を義務化する | 386 | 24.0％ |
| ７ | その他 | 37 | 2.3％ |
|  | 無回答 | 17 | 1.1％ |



トラフ博士

Ⓒやなせたかし

【住宅の耐震化について】

昨年４月に起こった熊本地震では、住宅の倒壊により多くの尊い命が奪われました。近い将来必ず起こると言われている南海トラフ地震では、熊本地震のような強い揺れだけでなく、沿岸部では津波の到達も予想されています。

地震による住宅の倒壊は、命が失われる直接的な原因となるだけでなく、その後の地震火災の発生や拡大、津波からの逃げ遅れにつながるほか、倒壊した住宅のがれきが道路をふさいでしまうことによって消防活動や救急搬送が阻害され、さらに多くの命が失われることにもなります。南海トラフ地震による犠牲者を限りなくゼロにするために住宅の耐震化は必要です。

高知県では市町村と協力して、昭和56年５月以前※に建てられた住宅の「耐震診断」、「耐震設計」、「耐震改修工事」を支援する補助制度を設けています。

＊詳しくは、同封のチラシ「大丈夫かよ！おまんくは？」をご覧ください。

住宅の耐震化を進めるにあたっては、所有者の費用負担が生じることが特に大きなネックとなっていると考えています。耐震診断の無料化や、耐震設計や耐震改修工事の補助額の引き上げに努めるとともに、段階的に行う耐震改修工事への支援制度も一部の市町村で開始しています。

これまでに、補助制度を活用して約5,700棟の住宅の耐震化がされていますが、県内の住宅の耐震化率は昨年度末で79パーセントにとどまっており、今後の取り組みの一層の強化が必要となっています。

　※昭和56年の建築基準法施行令の改正により、耐震設計法の見直しがされた。



耐震改修の大ちゃん

Ⓒ村岡マサヒロ

問20　あなたのお宅（持家、借家に関わらず）の建築年と構造をお答えください。

増改築されている場合は、主な部分の建築年としてください。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（1つだけ○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 昭和56年５月以前の木造住宅 | 413 | 25.7％ |
| ２ | 昭和56年６月以降で平成12年５月以前※の木造住宅 | 350 | 21.8％ |
| ３ | 平成12年６月以降の木造住宅 | 270 | 16.8％ |
| ４ | 昭和56年５月以前の非木造住宅 | 52 | 3.2％ |
| ５ | 昭和56年６月以降の非木造住宅 | 217 | 13.5％ |
| ６ | わからない | 215 | 13.4％ |
|  | 無回答 | 91 | 5.7％ |

※平成12年の建築基準法関連告示により、壁をバランス良く配置する基準や、柱や筋交い端部等を結合するための構造方法が明確化された。

副問１（問20で「１」を選んだ方のみお答えください。）

　専門家による耐震診断（地震の揺れに対する建物の強さの診

断)を受けたことがありますか、また、その結果はどうでしたか。　　　　　　　　　　　　　　　　　　（1つだけ○印）

（回答者数　413人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 診断を受けた結果、耐震性がなく耐震改修が必要と診断された | 74 | 17.9％ |
| ２ | 診断を受けた結果、耐震性があり耐震改修は必要ないと診断された | 10 | 2.4％ |
| ３ | 診断を受けたことはない | 327 | 79.2％ |
|  | 無回答 | 2 | 0.5％ |

　　副問２ （副問１で「１」を選んだ方のみお答えください。）

　　　　 　耐震改修工事を行いましたか、また、建て替えなどを予定していますか。　　　　　　　　　　　　　　　　（1つだけ○印）

（回答者数　74人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 耐震改修工事を行った | 35 | 47.3％ |
| ２ | 今後、耐震改修工事を行う、または、建て替える予定 | 15 | 20.3％ |
| ３ | 耐震改修工事も建て替えも行う予定はない | 16 | 21.6％ |
| ４ | 検討中 | 8 | 10.8％ |
|  | 無回答 | 0 | 0.0％ |

　　副問３ （副問１で「３」を選んだ方のみお答えください。）

　　　 耐震診断を受けていないのは、どのような理由があるからですか。　　　　　　　　　　　 （当てはまるものすべてに○印）

（回答者数　327人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 自分が生きている間に南海トラフ地震は起きないと思う | 15 | 4.6％ |
| ２ | 自宅が地震に強いと思っている | 15 | 4.6％ |
| ３ | 自宅が地震に弱いと思っているので受ける意味が無い | 72 | 22.0％ |
| ４ | 申し込み手続きに手間がかかる | 36 | 11.0％ |
| ５ | 家の中に他人が入ってほしくない | 16 | 4.9％ |
| ６ | 部屋を片付けるのが面倒だ | 34 | 10.4％ |
| ７ | 耐震診断の費用がかかる | 109 | 33.3％ |
| ８ | 耐震診断のやり方がわからない | 49 | 15.0％ |
| ９ | 近いうちにリフォームする予定で、その時に耐震診断をするつもりである | 6 | 1.8％ |
| 10 | 近いうちに建て替えるつもりである | 9 | 2.8％ |
| 11 | 耐震診断の結果、耐震改修工事などが必要になっても費用が高額で出せない | 146 | 44.6％ |
| 12 | どんなに耐震化しても大地震（または大津波）にあえば被害は避けられないと思う | 116 | 35.5％ |
| 13 | その他 | 51 | 15.6％ |
|  | 無回答 | 13 | 4.0％ |

　　副問４（副問２で「３」、「４」を選んだ方のみお答えください。）

　　　　 耐震改修工事などをしていないのはどのような理由からですか。

（当てはまるものすべてに○印）

（回答者数　24人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 費用が高い | 18 | 75.0％ |
| ２ | 申し込み手続きに手間がかかる | 3 | 12.5％ |
| ３ | 家の中に他人が入ってほしくない | 0 | 0.0％ |
| ４ | 工事中の生活に支障が出る | 9 | 37.5％ |
| ５ | 工事に伴う荷物の移動が面倒だ | 5 | 20.8％ |
| ６ | 信頼できる業者を知らない | 4 | 16.7％ |
| ７ | どんなに耐震化しても大地震（または大津波）にあえば被害は避けられないと思う | 7 | 29.2％ |
| ８ | その他 | 2 | 8.3％ |
|  | 無回答 | 2 | 8.3％ |

　副問５（各問から副問５へ誘導された方のみお答えください。）

　　　 県や市町村が昭和56年５月31日以前に建築された住宅の耐震診断や耐震設計、耐震改修工事にかかった費用の一部を補助していますが、ご存じですか。 （1つだけ○印）

（回答者数　465人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 知っている | 254 | 54.6％ |
| ２ | 知らない | 117 | 25.2％ |
| ３ | 既に利用した（利用中を含む） | 18 | 3.9％ |
|  | 無回答 | 76 | 16.3％ |

問21　耐震改修工事について、自己負担がどれくらいの金額までなら工

事をしてもよいと思いますか。　　　　　　　　　　（1つだけ○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 10万円まで | 535 | 33.3％ |
| ２ | 20万円まで | 343 | 21.3％ |
| ３ | 40万円まで | 228 | 14.2％ |
| ４ | 60万円まで | 116 | 7.2％ |
| ５ | 80万円まで | 26 | 1.6％ |
| ６ | 100万円まで | 166 | 10.3％ |
| ７ | 100万円以上でもよい | 59 | 3.7％ |
|  | 無回答 | 135 | 8.4％ |

問22　今後、県が市町村等と協力して行う施策として、特に力を入れる

べきものは何ですか。 　　　 　 （３つまで○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備 | 460 | 28.6％ |
| ２ | 地区ごとの説明会、パンフレットの配布などによる、耐震化の必要性の啓発や補助制度の周知 | 309 | 19.2％ |
| ３ | 戸別に訪問しての、耐震化の必要性や補助制度の丁寧な説明 | 241 | 15.0％ |
| ４ | 耐震診断士の無料派遣 | 695 | 43.2％ |
| ５ | 耐震設計や耐震改修工事に対する補助金額の引き上げ | 639 | 39.7％ |
| ６ | 一気に耐震改修工事できない場合に対応するための段階的な耐震改修工事への支援 | 290 | 18.0％ |
| ７ | 昭和56年６月以降で平成12年５月以前の住宅の耐震化（耐震診断、耐震工事、耐震改修工事）への費用の支援 | 414 | 25.7％ |
| ８ | 民間金融機関と連携した低金利による貸付制度による支援 | 219 | 13.6％ |
| ９ | 信頼できる設計事務所や工務店の紹介など、悪徳リフォーム予防対策 | 440 | 27.4％ |
| 10 | 現場見学会など、耐震改修工事の実例に触れる機会の提供 | 155 | 9.6％ |
| 11 | オーナーに対する指導などによる、賃貸住宅の耐震化の促進 | 146 | 9.1％ |
| 12 | 行政には特に期待していない | 77 | 4.8％ |
| 13 | その他 | 28 | 1.7％ |
|  | 無回答 | 39 | 2.4％ |



詳しくは、同封のチラシ「大丈夫かよ！おまんくは？」を

ご覧ください。



**３．在宅医療について**

|  |
| --- |
| 皆さまやご家族が病気で長期の療養が必要となった場合、できるだけ住み慣れた地域で暮らせる医療提供の仕組みとして「在宅医療※」の制度があり、患者やご家族が希望される場合には在宅での医療が可能となっています。  県では、病院での治療により病状が落ち着いた後、希望する方が在宅医療を選択することができるよう、在宅医療を担う人材の育成・確保や、在宅医療関係者間の連携強化などに取り組んでいます。  ※在宅医療：在宅医療とは、病気で長期の療養が必要となった場合に、病院や診療所への通院が困難な方  が普段過ごす居宅（自宅のほか、いつも暮らしている老人ホーム等の施設を含みます）に、  医師や看護師などが定期的に訪問して診察や投薬を行う医療です。  在宅医療と似ているものに「往診」がありますが、往診は在宅の患者が急に具合が悪くなっ  たときに、患者や家族の求めに応じて緊急に訪問して診察を行うもので、定期的に訪問する  在宅医療とは異なります。  ＊詳しくは、同封のパンフレット「第３期日本一の健康長寿県構想ver.２」のＰ７～８をご覧ください。 |

問23　日ごろから診療を受けるだけでなく、病気や健康に関して相談することが

できる、かかりつけ医としている医師がいますか。 （１つだけ○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | いる | 631 | 39.2％ |
| ２ | いない | 955 | 59.4％ |
|  | 無回答 | 22 | 1.4％ |

問24　仮にあなたが病気の急性期※を過ぎて、その後遺症などで長期の治療が必要

になった場合、どのような医療を選択しますか。 （１つだけ○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 自宅で暮らしながら、訪問診療や訪問看護などにより在宅医療を受ける | 448 | 27.9％ |
| ２ | 家族などの介護を受けて病院に通院する | 223 | 13.9％ |
| ３ | 特別養護老人ホームなどの介護施設に入所して療養する | 133 | 8.3％ |
| ４ | 病院に入院して診療を受ける | 500 | 31.1％ |
| ５ | その他 | 20 | 1.2％ |
| ６ | わからない | 266 | 16.5％ |
|  | 無回答 | 18 | 1.1％ |

※急性期：救急などの急な病気やけが、又は手術や高度な処置・検討が必要で入院した直後、又は手術や処置・検査 の後で病状が落ち着いていない時期。

問25　あなたが長期の療養が必要になった場合、どのような条件や環境が整えば

在宅医療を選択しますか。 　　　　　　　　　　　　　（２つまで○印）

（回答者数　1,608人）

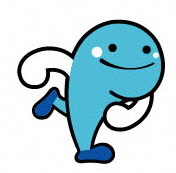
|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 在宅での医療や介護について、いつでも相談できる先がある | 196 | 12.2％ |
| ２ | 急に病状が悪化した場合に、すぐに往診してくれる医師や看護師がいる | 401 | 24.9％ |
| ３ | 急に病状が悪化した場合に、すぐに入院できる医療機関がある | 465 | 28.9％ |
| ４ | 家族が急な病気や用事で看護できなくなったときに、代わりに看護を引き受けてくれる施設がある | 252 | 15.7％ |
| ５ | 家族の身体的・時間的な負担が大きくならない | 748 | 46.5％ |
| ６ | 経済的な負担が少ない | 714 | 44.4％ |
| ７ | 現状でも特に問題がなく、在宅医療を受けられる | 26 | 1.6％ |
| ８ | その他 | 22 | 1.4％ |
| ９ | わからない | 107 | 6.7％ |
|  | 無回答 | 22 | 1.4％ |

問26　あなたや家族の方が在宅医療を選択する場合、どこに相談しますか。

（２つまで○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 市町村（地域包括支援センター）、福祉事務所、保健所、あったかふれあいセンターなどの公共窓口 | 844 | 52.5％ |
| ２ | かかりつけ医、入院している病院の医療ソーシャルワーカーや主治医 | 922 | 57.3％ |
| ３ | 地域のお世話役（民生委員・児童委員、町内会長や地区長など） | 71 | 4.4％ |
| ４ | 居宅介護支援事業所（ケアマネージャー） | 356 | 22.1％ |
| ５ | その他 | 16 | 1.0％ |
| ６ | わからない | 265 | 16.5％ |
|  | 無回答 | 26 | 1.6％ |



約半分終わりました。

引き続き、ご協力をお願いします。

**４．飲酒と健康について**

|  |
| --- |
| 酒類は私たちの生活に豊かさと潤いを与えるものであり、特に高知県は酒国土佐と呼ばれるように、全国的にみても成人１人当たりの酒類消費量は上位にあり、古くからお酒の文化や伝統が県民の生活に深く浸透しています。  一方で、多量の飲酒や未成年者、妊婦の飲酒等の不適切な飲酒は肝臓などの臓器疾患や依存症など、アルコール健康障害の原因となります。  平成26年６月には、「アルコール健康障害対策基本法」が施行され、国民の健康を保護するとともに、安心して暮らすことのできる社会の実現に寄与することを目的として、アルコール健康障害対策を総合的に推進していくこととされました。  これらの状況を踏まえ、高知県でも今年度、「高知県アルコール健康障害対策推進計画」の策定を予定しており、本県のアルコールを取り巻く環境や実情に即した内容を盛り込み、アルコール健康障害対策に総合的に取り組んでいくことにしています。  アルコール健康障害の予防、早期発見・早期治療、再発の予防等、当事者やその家族への支援を充実させ、県民一人ひとりがアルコールについての正しい知識を持ったうえで、アルコールと適切な付き合いができるよう、取り組みを進めていきたいと考えています。 |

問27　あなたは日頃お酒をどのくらいの頻度で飲みますか。（１つだけ○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 毎日飲む | 322 | 20.0％ |
| ２ | 週に４～５回 | 134 | 8.3％ |
| ３ | 週に２～３回 | 120 | 7.5％ |
| ４ | 週に１回程度 | 108 | 6.7％ |
| ５ | 月に２～４回 | 128 | 8.0％ |
| ６ | 月に１回 | 79 | 4.9％ |
| ７ | 年に数回 | 252 | 15.7％ |
| ８ | 飲まない・飲めない | 355 | 22.1％ |
| ９ | 未成年なので飲めない | 83 | 5.2％ |
|  | 無回答 | 27 | 1.7％ |



　　副問１（問27で「１・２・３・４・５・６・７」を選んだ方のみお答えください。）

飲酒するときはどのような理由で飲酒することが多いですか。

（当てはまるものすべてに○印）

（回答者数　1,143人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 酒が好きだから | 428 | 37.4％ |
| ２ | 飲み会や宴会のため | 480 | 42.0％ |
| ３ | 友人、仲間との関係を深めるため | 432 | 37.8％ |
| ４ | 仕事上の付き合いのため | 291 | 25.5％ |
| ５ | 習慣となっているため | 261 | 22.8％ |
| ６ | 疲れがとれる気がするため | 158 | 13.8％ |
| ７ | 寝付きが良くなる気がするため | 151 | 13.2％ |
| ８ | ストレス解消になる気がするため | 308 | 26.9％ |
| ９ | 不安やイライラを解消する気がするため | 111 | 9.7％ |
| 10 | その他 | 40 | 3.5％ |
|  | 無回答 | 4 | 0.3％ |

　　副問２（副問１を答えた方のみお答えください。）

飲酒について、心がけていることはありますか。

（当てはまるものすべてに○印）

（回答者数　1,143人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 特になし | 206 | 18.0％ |
| ２ | 休肝日を設けている | 164 | 14.3％ |
| ３ | 適正量※を守っている | 244 | 21.3％ |
| ４ | 一日の飲酒量を決めている | 226 | 19.8％ |
| ５ | 食べ物も一緒に摂取している | 613 | 53.6％ |
| ６ | 定期的に検診を受けている | 189 | 16.5％ |
| ７ | 他人に飲酒を強要しない | 449 | 39.3％ |
| ８ | 未成年に飲酒をさせない | 397 | 34.7％ |
| ９ | イッキ飲みをしない、させない | 404 | 35.3％ |
| 10 | 飲酒運転をしない、させない | 691 | 60.5％ |
| 11 | その他 | 5 | 0.4％ |
|  | 無回答 | 91 | 8.0％ |

※節度ある適度な飲酒とは…一日平均純アルコール約20g程度

【主な酒類の換算の目安】



出典：厚生労働省

問28　アルコールが体に及ぼす影響について、次のことを知っていますか。　　　　　　　　　　（当てはまるものすべてに○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 未成年者の飲酒は脳の発達に悪影響がある | 1,048 | 65.2％ |
| ２ | 未成年者の飲酒は性ホルモンの成長に悪影響がある | 546 | 34.0％ |
| ３ | 妊婦の飲酒は脳障害や発育障害など胎児の発育に悪影響がある | 1,303 | 81.0％ |
| ４ | アルコールの飲みすぎは肝臓病だけでなく全身に様々な障害を起こす | 1,232 | 76.6％ |
| ５ | アルコールの飲み過ぎは高血圧や糖尿病の合併症が引き起こされる | 1,027 | 63.9％ |
| ６ | アルコールの飲み過ぎは脳に影響を及ぼす | 798 | 49.6％ |
| ７ | アルコールが原因で不眠症やうつ病、認知症になることがある | 488 | 30.3％ |
| ８ | 急性アルコール中毒は死に至ることがある | 1,382 | 85.9％ |
| ９ | 知らない | 33 | 2.1％ |
|  | 無回答 | 22 | 1.4％ |

問29　不適切な飲酒によって引き起こされる次のもので、あなたやご家族、ご友人、知人などが経験したことがあるものはどれですか。

（当てはまるものすべてに○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 飲酒代の家計への負担や失業による経済的困窮 | 192 | 11.9％ |
| ２ | 配偶者（内縁も含む）や親などへの暴言、暴力 | 340 | 21.1％ |
| ３ | 育児放棄や暴力などの子どもへの虐待 | 85 | 5.3％ |
| ４ | 飲酒運転や飲酒による交通事故 | 345 | 21.5％ |
| ５ | 万引きなどの窃盗 | 20 | 1.2％ |
| ６ | 他人への傷害、暴力 | 193 | 12.0％ |
| ７ | 家族関係の悪化 | 348 | 21.6％ |
| ８ | 友人や社会的信用の喪失 | 206 | 12.8％ |
| ９ | 自殺または自殺未遂 | 42 | 2.6％ |
| 10 | その他 | 26 | 1.6％ |
| 11 | 特になし | 838 | 52.1％ |
|  | 無回答 | 44 | 2.7％ |



問30　アルコール依存症について、次のことを知っていますか。

（当てはまるものすべてに○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 飲酒をコントロールすることができない精神疾患である | 1,275 | 79.3％ |
| ２ | アルコール依存症はゆっくり進行していくため、飲酒をしていても、依存が作られている途中では自分では気付かない | 635 | 39.5％ |
| ３ | 飲酒をしていれば、誰もが依存症になる可能性がある | 738 | 45.9％ |
| ４ | 一度依存症になると治らない | 265 | 16.5％ |
| ５ | 断酒を続けることにより、依存状態から回復する | 600 | 37.3％ |
| ６ | 専門的な治療が必要となる | 1,040 | 64.7％ |
| ７ | お酒に強い人ほどなりやすい | 216 | 13.4％ |
| ８ | 女性の方が短期間で発症する傾向がある | 326 | 20.3％ |
| ９ | 相談できる機関・団体がある | 593 | 36.9％ |
| 10 | その他 | 5 | 0.3％ |
| 11 | 特になし | 77 | 4.8％ |
|  | 無回答 | 26 | 1.6％ |

問31　あなたやあなたの家族にアルコール依存症が疑われる場合、相談窓口

を知っていれば、相談しますか。　　　　　　　　（１つだけ○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | する | 1,361 | 84.6％ |
| ２ | しない | 218 | 13.6％ |
|  | 無回答 | 29 | 1.8％ |

副問１（問31で「２」を選んだ方のみお答えください。）

　　　　　　相談しない理由はなんですか。 （当てはまるものすべてに○印）

（回答者数　218人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 相談に行く時間がないから | 24 | 11.0％ |
| ２ | どのような対応をしてもらえるか不安だから | 43 | 19.7％ |
| ３ | アルコール依存症の相談をすることが恥ずかしいから | 19 | 8.7％ |
| ４ | 相談する必要を感じないから | 43 | 19.7％ |
| ５ | 相談しても解決すると思えないから | 96 | 44.0％ |
| ６ | アルコール依存症と認めたくないから | 11 | 5.0％ |
| ７ | お金がかかるから | 25 | 11.5％ |
| ８ | その他 | 13 | 6.0％ |
| ９ | 特になし | 32 | 14.7％ |
|  | 無回答 | 2 | 0.9％ |



**5．子どものスポーツ振興施策について**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 本県のスポーツ振興施策は、これまで教育委員会を中心に学校における運動・スポーツ活動を基礎として、様々な取り組みを行ってきました。  その結果、小中学生の体力や運動能力は概ね全国平均に到達し、一部の競技では世界大会で活躍するジュニア選手が生まれるなどの成果が表れてきました。  しかしながら、県全体としては、国民体育大会の総合成績が３年連続で全国最下位になるなど競技力の面で大きな課題があり、また、週１回以上スポーツを実施する成人の割合は約４割にとどまるなど、県民全体に運動習慣が十分定着しているとはいえない状況にあります。  そのため、高知県では、平成29年度から学校体育以外のスポーツに関連する業務を文化生活スポーツ部に一元化し、子どもから高齢者、障害者など、多くの方々がスポーツに親しむことができる環境づくりや、スポーツを通じた地域の活性化など、幅広い視点からのスポーツ振興を進めていきたいと考えています。  　なかでも、早い段階から子どもの才能を見出し、子どもの特性に応じた競技につなげることは、将来のトップ選手の育成はもとより、子ども自身が達成感を持ち、その後の生涯にわたるスポーツの実践につながることが期待され、大変有効なことと考えています。  　現在、高知県では「ジュニア選手育成事業（通称：高知くろしおキッズ）」として、スポーツの優れた才能を有する小学４・５・６年生を発掘し、世界に羽ばたく選手の育成を目的に、運動能力を向上させるプログラムやスポーツに対する意識を高めるプログラムなどの取り組みを実施しています。  【高知くろしおキッズ概要】（認定者数は平成29年度の実績）   |  |  | | --- | --- | | 項目 | 内容 | | 目　的 | 県内の優れたジュニア選手を発掘し、各種プログラムを実施することにより、本県の競技力向上と将来、日本代表として活躍できる選手の育成を目指す。 | | 対象者 | 小学４年生～小学６年生 | | 選抜方法 | 募集：全小学校の対象者に募集チラシを配布  選考：１次選考会：新体力テスト、２次選考会：専門体力測定 | | 認定者数 | 小学4年：25名（男13名、女12名）小学５年：22名（男13名、女９名）  小学６年：19名（男９名、女10名）　合計66名 | | 活動内容 | ・運動能力向上プログラム（各種トレーニング、競技体験等）  ・知的能力向上プログラム（コミュニケーション能力、栄養等）　など | | 活動頻度 | 年間30回（４月～翌年３月） | |

問32　あなたがスポーツに取り組むことになったきっかけは何ですか。　　　　　　　　　　　　　 　（１つだけ○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 家族や友達などの周りの人が取り組んでいるのを見て | 232 | 14.4％ |
| ２ | 家族や友達、先生などの周りの人に勧められて | 100 | 6.2％ |
| ３ | 体育の授業やスポーツイベントなどへの参加を通して | 78 | 4.9％ |
| ４ | プロ野球やＪリーグなどのスポーツ観戦を通して | 33 | 2.1％ |
| ５ | 美容や健康増進のため | 184 | 11.4％ |
| ６ | その他 | 44 | 2.7％ |
| ７ | スポーツはやっていない | 918 | 57.1％ |
|  | 無回答 | 19 | 1.2％ |

問33　子どもたちがスポーツに親しむために有効な取り組みは何だと思いますか。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（１つだけ○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 学校の体育施設や運動公園など子どもが自由に利用できる場の提供 | 482 | 30.0％ |
| ２ | スポーツクラブやスポーツイベントなど日常的にスポーツができる機会の充実 | 395 | 24.6％ |
| ３ | スポーツに興味・関心を抱かせる体育の授業や幼児教育の充実 | 344 | 21.4％ |
| ４ | スポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人材の育成 | 336 | 20.9％ |
| ５ | その他 | 24 | 1.5％ |
|  | 無回答 | 27 | 1.7％ |





**６．第３期産業振興計画ver.２について**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　これまでの産業振興計画の取り組みを通じて、地産外商が大きく進んだ

結果、昨年度の有効求人倍率は統計史上初めて年間を通して１倍を超えると

ともに、表1、表２のような良い傾向が現れており、本県経済は、人口減少下にあっても今や拡大する方向へと転換しつつあるものと考えています。

　　　　　　＜産業振興計画の取り組み前と取り組み後との比較＞

　　　　　表１：経済成長率（単位：％）　　　　　　　　　表２：１人当たりの県民所得

|  |
| --- |
| **（高知県）＜一人当たり県民所得＞**  **H20:228.0万円**  **→H26:253.0万円（11.0％増）**  **（全国）＜一人当たり国民所得＞**  **H20：277.3万円**  **→H26:286.8万円（3.4％増）** |

こうした流れを一過性のものとせず、本県経済の活性化の傾向を確固たるものとしていくためには、まだまだ乗り越えなければならない課題があります。

特に、人口ピラミッドの構成に従って生産年齢人口が継続的に減少していることに加えて、雇用情勢の改善により失業率が低下したことから、各産業分野の担い手不足が大きな課題となっています。

県では、この担い手不足の克服が極めて重要であることから、平成31年度に人口の社会増減を均衡させるという目標を掲げて取り組みを進めています。人口の社会減（転出者数が転入者数を上回る状態）は、過去の全国的な景気回復局面の２分の１程度に改善し、直近の平成28年度には1,770人まで改善してきていますが、目標の実現に向け、さらなる努力が必要な状況にあります。

このため、平成29年度版の「第３期産業振興計画Ver.2」では、多様な仕事の創出や効果的な紹介などによって若者の県外流出に歯止めをかけるとともに、移住やＵＩターンといった形で本県の産業に必要な人材を呼び込む取り組みを強化するなど、「地産」「外商」「拡大再生産」の各施策をより一層パワーアップし、官民協働、市町村との連携協調のもと、全力で取り組みを進めています。

県民の皆さまには、産業振興計画への積極的なご参画とご協力をお願いします。

＊詳しくは同封のパンフレット「第３期高知県産業振興計画Ver.2　PR版」をご覧ください。

問34　平成31年度の人口の社会増減を均衡させるという目標を実現するためには、多くの若者に県内で就職していただけるようになることが重要です。そのために、県として何に力を入れる必要があると思いますか。

（２つまで○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 多種多様な職場を数多くつくる | 599 | 37.3％ |
| ２ | 県内で頑張っている企業の情報を全国に発信する | 390 | 24.3％ |
| ３ | 新しい事業を起こしやすい環境を整備する | 225 | 14.0％ |
| ４ | 企業に給料、福利厚生等を改善するよう働きかける | 824 | 51.2％ |
| ５ | 県内か県外への進路を決める高校生等に対する、県内企業の紹介を強化する | 374 | 23.3％ |
| ６ | 小さい頃から県内企業の職場体験や企業訪問などを通して、仕事への理解を深める取り組みを行う | 480 | 29.9％ |
| ７ | その他 | 56 | 3.5％ |
|  | 無回答 | 13 | 0.8％ |

問35　県では、平成31年度に移住者を1,000組にするという目標を達成するために、今年の秋を目途に、移住促進と人材確保を一体的に担う新組織※1を立ち上げ、各産業分野の人材ニーズを掘り起こした上で一元的に集約し、相談者のニーズに応じた提案をしていきます。今後どのような取り組みに力を入れていくべきだと思いますか。　　（３つまで○印）

（回答者数　1,608人）

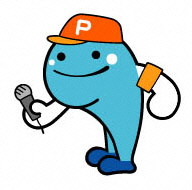
|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 子育て世代やアウトドア関心層など、より幅広いターゲットへのアプローチを強化する | 612 | 38.1％ |
| ２ | 農業と他の仕事を組み合わせた、いわゆる「半農半Ｘ」※2といった都会にはない多様な働き方を発信する | 701 | 43.6％ |
| ３ | 移住希望者の様々なニーズに対応できるように、相談対応を行うスタッフのスキルアップなどにより提案力を高める | 513 | 31.9％ |
| ４ | 都市部で実施している移住フェア・相談会や、高知県へのお試し移住体験ツアーなどの回数を増やす | 528 | 32.8％ |
| ５ | 移住者の住宅の確保に向けて、空き家の活用等の取り組みを強化する | 841 | 52.3％ |
| ６ | 移住者が地域にスムーズに溶け込めるように、地域で気軽に相談ができる体制を整える（ＮＰＯや地域住民による声掛け等のサポートなど） | 622 | 38.7％ |
| ７ | その他 | 83 | 5.2％ |
|  | 無回答 | 29 | 1.8％ |

※1新組織：移住・交流コンシェルジュの移住相談窓口と事業承継・人材確保センターの「中核人材確保」「Ｕ・Ｉターン就職支援」を統合した組織。

※2 半農半Ｘ：農業と農業以外の仕事といった、複数の仕事によって生計を立てること。

１人で複数の仕事を組み合わせる場合や、夫婦など世帯として複数の仕事を組み合わせることが想定される。

また、林業や漁業などと他の仕事を組み合わせる「半林半Ｘ」、「半漁半Ｘ」なども想定される。



**７．県の広報について**

|  |
| --- |
| 県では、広く県民の皆さまに、県の政策やさまざまな事業にご理解やご協力をいただくため、テレビやラジオ、新聞、広報紙などを活用した広報活動に取り組んでいます。  　これからも、県民の皆さまにとって、さらに「分かりやすい」情報をお伝えできるよう、それぞれの広報媒体の特徴を活かしながら、効果的な広報に努めていきます。  (※)県提供のテレビ・ラジオ放送  　[テレビ]　おはようこうち　　　　　　高知放送　　　日曜　　　 7:00～ 7:14  　　 　県民ニュース　　　　　　テレビ高知　　　月、水曜　18:50～18:54  　　 　知っとく高知県　　　高知さんさんテレビ　火、木曜　18:47～18:50    [ラジオ]　聞かせて高知県　　　　エフエム高知　　　火、木曜　 9:30～ 9:47  　　 　ラジオ県庁ナビ　　　　　　高知放送　　　火、木曜　14:20～14:35  　　 　高知県からのお知らせ　　　高知放送　　　月～金曜　 9:50～9:55  　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　土曜　　　11:25～11:29  　　 　高知県からのお知らせ　エフエム高知　　　月～木曜　16:45～16:50 |

問36　県が行っている次の広報活動で、ご覧になったり、お聴きになったりしたことがあるものはどれですか。　 （当てはまるものすべてに○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 県広報紙「さんＳＵＮ高知」（毎月１日発行） | 965 | 60.0％ |
| ２ | 新聞広告「高知県からのお知らせ」など（高知新聞の広告欄に掲載） | 440 | 27.4％ |
| ３ | テレビ番組「おはようこうち」 | 754 | 46.9％ |
| ４ | テレビ番組「県民ニュース」 | 623 | 38.7％ |
| ５ | テレビ番組「知っとく高知県」 | 288 | 17.9％ |
| ６ | ラジオ番組「聞かせて高知県」、「ラジオ県庁ナビ」、「高知県からのお知らせ」 | 148 | 9.2％ |
| ７ | 県のホームページ | 236 | 14.7％ |
| ８ | 県の動画サイト「こうちインターネット放送局」 | 14 | 0.9％ |
| ９ | 県のツイッター※1、フェイスブック※2 | 46 | 2.9％ |
| 10 | 見たり、聴いたりしていない | 209 | 13.0％ |
|  | 無回答 | 29 | 1.8％ |

※1ツイッター：インターネット上で、140文字以内の「ツイート」と称される短文を投稿できる

情報サービス

※2フェイスブック：実名で現実の知り合いとインターネット上で交流ができる情報サービス

副問１（問36で「１」を選んだ方のみお答えください。）

　県広報紙「さんSUN高知」の記事を、どの程度読んでいますか。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（１つだけ○印）

（回答者数　965人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | すべての記事を読んでいる | 83 | 8.6％ |
| ２ | ほとんどの記事を読んでいる | 229 | 23.7％ |
| ３ | 一部の記事だけ読んでいる | 395 | 40.9％ |
| ４ | 見出しだけ見ている | 116 | 12.0％ |
| ５ | 写真、イラストだけ見ている | 33 | 3.4％ |
| ６ | ほとんど見ていない | 74 | 7.7％ |
| ７ | 全く見ていない | 12 | 1.2％ |
| ８ | 広報紙が届いていない | 9 | 0.9％ |
|  | 無回答 | 14 | 1.5％ |

副問２　（副問１で「２・３・４・５・６」を選んだ方のみお答えください。）

県広報紙「さんSUN高知」の紙面について、必ず読んでいる記事は次のうちどれですか。 　（当てはまるものすべてに○印）

（回答者数　847人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 表紙 | 375 | 44.3％ |
| ２ | 県政ピックアップ | 227 | 26.8％ |
| ３ | 特集 | 354 | 41.8％ |
| ４ | 土佐の維新人 | 177 | 20.9％ |
| ５ | 情報ひろば | 471 | 55.6％ |
| ６ | 県立施設のご案内 | 302 | 35.7％ |
| ７ | その他 | 6 | 0.7％ |
| ８ | 特にない | 133 | 15.7％ |
| ９ | わからない | 18 | 2.1％ |
|  | 無回答 | 10 | 1.2％ |



さんSUN高知最新号！

例：平成29年さんSUN高知8月号

・県政ピックアップ

地産外商の強化「輸出」の本格化！

・特集

　南海トラフ地震対策を全力で進めています！

・土佐の維新人

　ミタニ建設工業株式会社　代表取締役社長　三谷　剛平さん

・情報ひろば

講座、お知らせ、催し、試験、募集

副問３　（副問３へ誘導された方のみお答えください。）

県広報紙「さんSUN高知」の紙面について、魅力的で分かりやすくするには、どのようにすべきだと思いますか。

（当てはまるものすべてに○印）

（回答者数　930人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 文字を大きくする | 196 | 21.1％ |
| ２ | 写真やイラストを多くする | 230 | 24.7％ |
| ３ | 文字数を少なくする | 66 | 7.1％ |
| ４ | 文章の内容が分かるような見出しを多く用いる | 254 | 27.3％ |
| ５ | 目を引くようなデザインやレイアウトなど、見やすさを工夫する | 238 | 25.6％ |
| ６ | 専門用語など分かりづらい表現は、言い方を変えたり解説をつける | 244 | 26.2％ |
| ７ | 県民に伝えたいことや協力してほしいことなどメッセージ性がある分かりやすい文章とする | 311 | 33.4％ |
| ８ | ページ数を増やすことで、より多くの情報を掲載する | 75 | 8.1％ |
| ９ | その他 | 15 | 1.6％ |
| 10 | 特にない | 104 | 11.2％ |
| 11 | わからない | 28 | 3.0％ |
|  | 無回答 | 159 | 17.1％ |

問37　県広報紙「さんSUN高知」を充実するために、どのようなことを中心に取り上げるべきだと思いますか。　　（当てはまるものすべてに○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 県の重要な政策・取り組みをより詳しく紹介する | 392 | 24.4％ |
| ２ | 県全体の政策・取り組みをバランスよく紹介する | 429 | 26.7％ |
| ３ | 県の新しい政策・取り組みなど最新情報を優先的に紹介する | 367 | 22.8％ |
| ４ | 県の取り組みの動きや成果を節目ごとに紹介する | 392 | 24.4％ |
| ５ | 日常生活で役立つ情報を優先的に紹介する | 763 | 47.5％ |
| ６ | 県民が参加できるイベントや講座等の情報を多く掲載する | 633 | 39.4％ |
| ７ | その他 | 23 | 1.4％ |
| ８ | 特にない | 114 | 7.1％ |
| ９ | わからない | 149 | 9.3％ |
|  | 無回答 | 128 | 8.0％ |



15　その他（

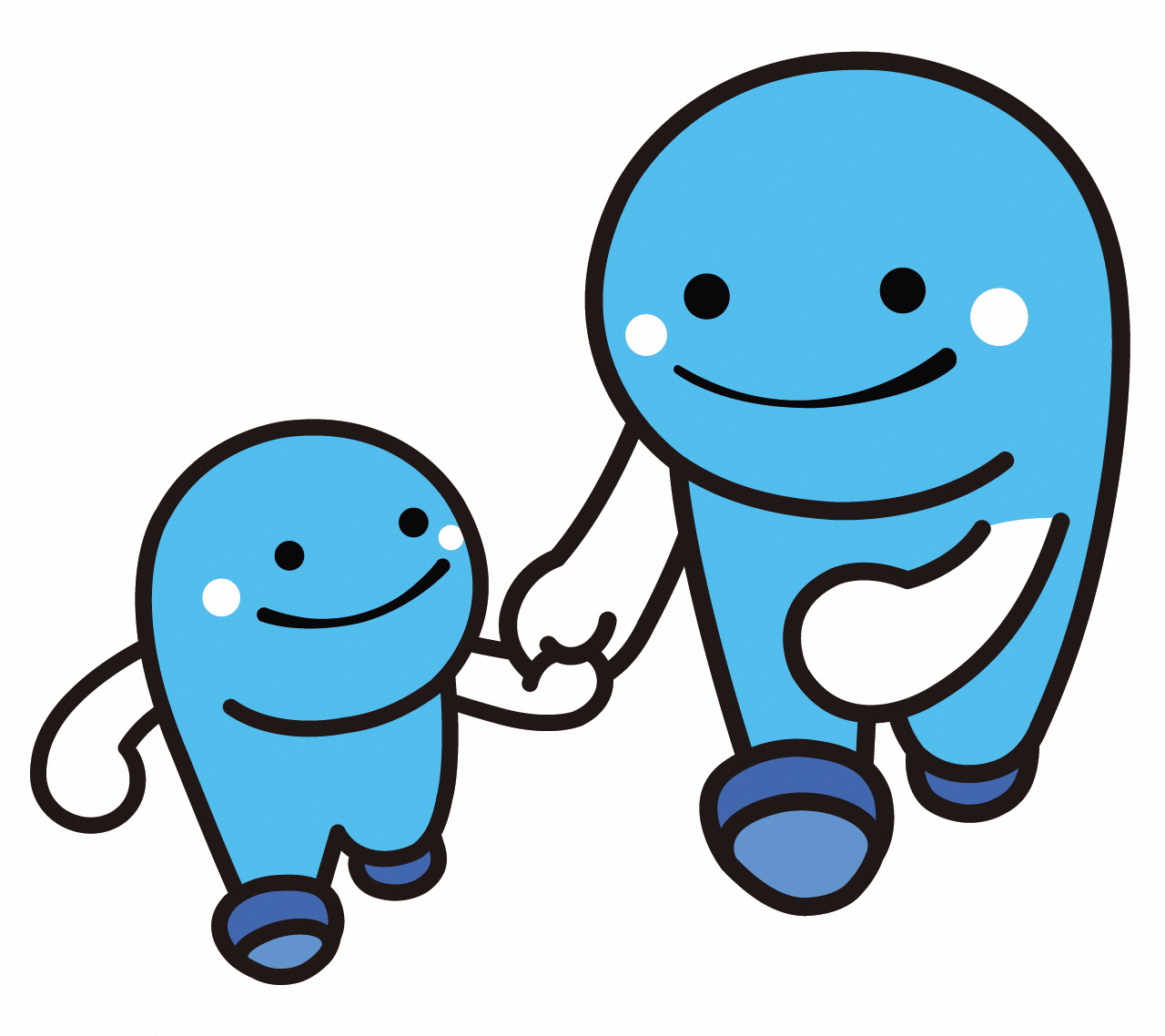
**８．幼児教育について**

|  |
| --- |
| 幼児期は、人として生きていく力の基礎が育つ重要な時期です。  この時期に子どもたちは、保護者やまわりの大人たちとの関わりの中で、身体が発達し、感情表現も豊かになり、言葉を覚え、基本的な生活習慣を身につけるとともに、日頃の遊びや活動の中で、今後の学習意欲や学習態度の基礎となる好奇心や探究心などを養います。  このような幼児期の子どもたちの健やかな成長のためには、県内のどこにいても幼稚園や保育所などで、質の高い保育・教育を受けることができるよう環境を整えることが必要ですし、家庭では、子どもの自立心の育成と心身ともにバランスの取れた発達に努めることが求められています。  こうした中、本県では、就学前教育の充実を平成28年度に策定した「教育大綱」の柱の一つに位置付け、幼児教育※の充実や保護者の子育て力向上の支援に取り組んでいます。   * 幼児教育：3歳から就学前までの時期に、遊び・体験など生活全般を通じて、心情、意欲、態   度などを培うものである。 |

問38　幼児教育について、どのようなことに力を入れて取り組むべきだと思いますか。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（３つまで○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 屋外で遊ぶこと | 358 | 22.3％ |
| ２ | 友だちと一緒に遊ぶこと | 601 | 37.4％ |
| ３ | 自然とふれあうこと | 560 | 34.8％ |
| ４ | 親子でふれあうこと | 404 | 25.1％ |
| ５ | 身体を丈夫にすること | 151 | 9.4％ |
| ６ | 基本的な生活習慣（生活時間、食事、健康管理など）を身につけさせること | 613 | 38.1％ |
| ７ | 他者への思いやりをもつこと | 522 | 32.5％ |
| ８ | 自分の気持ちや考えを人に伝えること | 236 | 14.7％ |
| ９ | 自分でできることは自分ですること | 197 | 12.3％ |
| 10 | 社会のマナーやルールを身につけること | 549 | 34.1％ |
| 11 | 伝統や文化を大切にすること | 47 | 2.9％ |
| 12 | 数や文字を学ぶこと | 22 | 1.4％ |
| 13 | 外国語を学ぶこと | 62 | 3.9％ |
| 14 | 芸術的な才能を伸ばすこと(音楽や絵画など) | 24 | 1.5％ |
| 15 | 興味や関心を広げること | 297 | 18.5％ |
| 16 | その他 | 12 | 0.7％ |
| 17 | わからない | 13 | 0.8％ |
|  | 無回答 | 15 | 0.9％ |



問39　幼児教育において、家庭の果たす役割として、どのようなことが重要

だと思いますか。 　　　　　　　　　　　　　　　　　　（３つまで○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 日ごろから子どもと会話するなど、家族のふれあいを大切にする | 1,227 | 76.3％ |
| ２ | 子どもが自信を持って生きることができるよう、子どもの個性と成長を認め、良いところを褒めながら育てる | 826 | 51.4％ |
| ３ | 間違った行いは、何がいけないのか理由をきちんと伝えて、叱る | 1,059 | 65.9％ |
| ４ | 基本的な生活習慣（生活時間、食事、健康管理など）を身につけさせる | 767 | 47.7％ |
| ５ | スポーツ活動や自然体験、ボランティア活動など多様な体験を家族などと一緒に経験する | 263 | 16.4％ |
| ６ | 家庭や地域の文化・伝統行事を通して、地域とのつながりの大切さを実感させる | 275 | 17.1％ |
| ７ | 習い事や学習塾に通わせ、早期教育の機会を与える | 53 | 3.3％ |
| ８ | その他 | 15 | 0.9％ |
| ９ | わからない | 17 | 1.1％ |
|  | 無回答 | 21 | 1.3％ |

問40　問39で重要と答えた家庭の役割は、現在の社会において十分にでき

ていると思いますか。　　　　　　　　　　　　　　（１つだけ○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 十分できている | 48 | 3.0％ |
| ２ | 概ねできている | 349 | 21.7％ |
| ３ | 不十分である | 884 | 55.0％ |
| ４ | 全くできていない | 35 | 2.2％ |
| ５ | わからない | 244 | 15.2％ |
|  | 無回答 | 48 | 3.0％ |



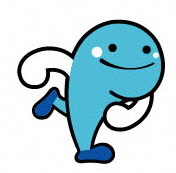
　　副問１（問40で「３・４」を選んだ方のみお答えください。）

現在の社会において、家庭の役割ができていないと思う要因は何

だと思いますか。　　　　　　　　　　　　　（３つまで○印）

（回答者数　919人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | しつけや教育の仕方が分からない保護者が増えたこと | 411 | 44.7％ |
| ２ | 過保護や甘やかし・過干渉の保護者が増えたこと | 371 | 40.4％ |
| ３ | しつけや教育に無関心な保護者が増えたこと | 221 | 24.0％ |
| ４ | しつけや教育を保育所・幼稚園などに任せきりにする保護者が増えたこと | 358 | 39.0％ |
| ５ | 共働きや長時間労働等により、多忙な保護者が増えたこと | 468 | 50.9％ |
| ６ | 子どもとの関わり方が分からない保護者が増えたこと | 111 | 12.1％ |
| ７ | 子どもが家庭以外の大人とふれあう機会が減ったこと | 212 | 23.1％ |
| ８ | 子どもにスマートフォンや携帯ゲーム機などを与え、親子のふれあいの時間を取らない保護者が増えたこと | 398 | 43.3％ |
| ９ | その他 | 27 | 2.9％ |
|  | 無回答 | 3 | 0.3％ |



最後に、あなたご自身

についてお尋ねいたします

**最後に、あなたご自身のことについてお尋ねします。**

　以下のＦ１からＦ１０までは、問１から問40までの回答が性別によってどう違うか、年代別にはどういう違いがみられるか、などといった分析をするうえで必要な質問です。ご協力をお願いします。

Ｆ１　性別　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　（１つだけ○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 男性 | 722 | 44.9％ |
| ２ | 女性 | 875 | 54.4％ |
|  | 無回答 | 11 | 0.7％ |

Ｆ２　年代　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 （１つだけ○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 10歳代 | 87 | 5.4％ |
| ２ | 20歳代 | 202 | 12.6％ |
| ３ | 30歳代 | 253 | 15.7％ |
| ４ | 40歳代 | 350 | 21.8％ |
| ５ | 50歳代 | 343 | 21.3％ |
| ６ | 60歳代 | 261 | 16.2％ |
| ７ | 70歳以上 | 98 | 6.1％ |
|  | 無回答 | 14 | 0.9％ |

Ｆ３　職業　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　（１つだけ○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 農林業 | 97 | 6.0％ |
| ２ | 漁業 | 9 | 0.6％ |
| ３ | 商工サービス業自営 | 69 | 4.3％ |
| ４ | 事務職 | 218 | 13.6％ |
| ５ | 技術職 | 282 | 17.5％ |
| ６ | 労務職 | 203 | 12.6％ |
| ７ | 管理職 | 64 | 4.0％ |
| ８ | 自由業 | 22 | 1.4％ |
| ９ | 主婦・主夫 | 149 | 9.3％ |
| 10 | 学生 | 116 | 7.2％ |
| 11 | 無職 | 189 | 11.8％ |
| 12 | その他 | 170 | 10.6％ |
|  | 無回答 | 20 | 1.2％ |

（主婦・主夫の場合は、家庭内の仕事と田畑、漁業に出る時間と比較して多い方を選択）

Ｆ４　あなたの属性　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（１つだけ○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 世帯主 | 631 | 39.2％ |
| ２ | 世帯主ではない（世帯員） | 963 | 59.9％ |
|  | 無回答 | 14 | 0.9％ |

Ｆ５　婚姻状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（１つだけ○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 未婚 | 529 | 32.9％ |
| ２ | 既婚 | 932 | 58.0％ |
| ３ | その他（離別、死別を含む） | 132 | 8.2％ |
|  | 無回答 | 15 | 0.9％ |

Ｆ６　子どもの状況（同居・別居に関わらずお答えください。）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　（当てはまるものすべてに○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 就学前の子どもがいる | 163 | 10.1％ |
| ２ | 小学生の子どもがいる | 184 | 11.4％ |
| ３ | 中学生の子どもがいる | 115 | 7.2％ |
| ４ | 高校生の子どもがいる | 115 | 7.2％ |
| ５ | 大学生、専門学校生等の子どもがいる | 113 | 7.0％ |
| ６ | 子どもは成人している又は独立している | 582 | 36.2％ |
| ７ | 子どもはいない | 594 | 36.9％ |
|  | 無回答 | 29 | 1.8％ |

Ｆ７　世帯の年間収入（税込み）　　　　　　　　　　　　 （１つだけ○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 0～100万円未満 | 115 | 7.2％ |
| ２ | 100～200万円未満 | 217 | 13.5％ |
| ３ | 200～300万円未満 | 281 | 17.5％ |
| ４ | 300～400万円未満 | 233 | 14.5％ |
| ５ | 400～600万円未満 | 314 | 19.5％ |
| ６ | 600～800万円未満 | 193 | 12.0％ |
| ７ | 800～1,000万円未満 | 96 | 6.0％ |
| ８ | 1,000万円以上 | 83 | 5.2％ |
|  | 無回答 | 76 | 4.7％ |

Ｆ８　お住まいの状況　　　　　　　　　　　　　　　　　（１つだけ○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 持家 | 1,269 | 78.9％ |
| ２ | 借家 | 295 | 18.3％ |
|  | 無回答 | 44 | 2.7％ |

Ｆ９　お住まいの場所（広域市町村圏）　　　　　　　　 （１つだけ○印）

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 高知市 | 710 | 44.2％ |
| ２ | 安芸広域圏 | 114 | 7.1％ |
| ３ | 南国・香美広域圏 | 229 | 14.2％ |
| ４ | 嶺北広域圏 | 34 | 2.1％ |
| ５ | 仁淀川広域圏 | 126 | 7.8％ |
| ６ | 高吾北広域圏 | 51 | 3.2％ |
| ７ | 高幡広域圏 | 123 | 7.6％ |
| ８ | 幡多広域圏 | 201 | 12.5％ |
|  | 無回答 | 20 | 1.2％ |

Ｆ10　あなたのお住まいの地域は沿岸部ですか。 　　　　 （どちらかに○印）

※住んでいるところが沿岸部かどうかの判断に迷う場合は、海（海岸、岸壁、港、湾、河口付近）から直線距離で約５ｋｍ（または車で約10分）を目安にしてください。

（回答者数　1,608人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項　目 | 回答数 | 回答比率 |
| １ | 沿岸部 | 553 | 34.4％ |
| ２ | 非沿岸部 | 1,035 | 64.4％ |
|  | 無回答 | 20 | 1.2％ |

